

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : グループホーム響き

作成日 : 平成25年1月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		響きの運営を行っていくうえでの指針となる理念は、入居者や、家族そして地域の方へまだ浸透していない	響き理念を広く周知していく	まずは、運営推進会議にて響き理念を公表し、理念をもとにサービスの提供を行っている事を理解して頂く	すぐにでも
2		防災面での準備・対策が不十分である	定期の防災訓練は今まで通り行い、自然災害などにも目を向け対策を講じていく	地域の協力を得ながら危険地区のマップ作成を行い、母体病院との連携により緊急時の避難場所や食料の備蓄に関する検討を行う	6ヶ月
3		地域との交流は、イベント等を通じて深まってきたが、まだ十分ではない	日常の生活でもっと地域の住民との関わりを持っていく	昨年からはじめた室園文化祭への参加の継続と地域の子どもたちとのふれあいの場をつくり、入居者の生きがいづくりを支援する。中学生のナイストライなどの受け入れなどにも協力する	9ヶ月
4		入居者様の身体レベルが年々落ちてきている	なるべく散歩や外出の機会を増やしていき、生きたい所に自分の足で歩いて行けるような支援をする	現在母体病院のリハビリ部から体操指導に来てもらっているの、それを継続していき筋力維持をして頂く	すぐにでも
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。